

2018年2月4日(日)晴

北摂 太閤道

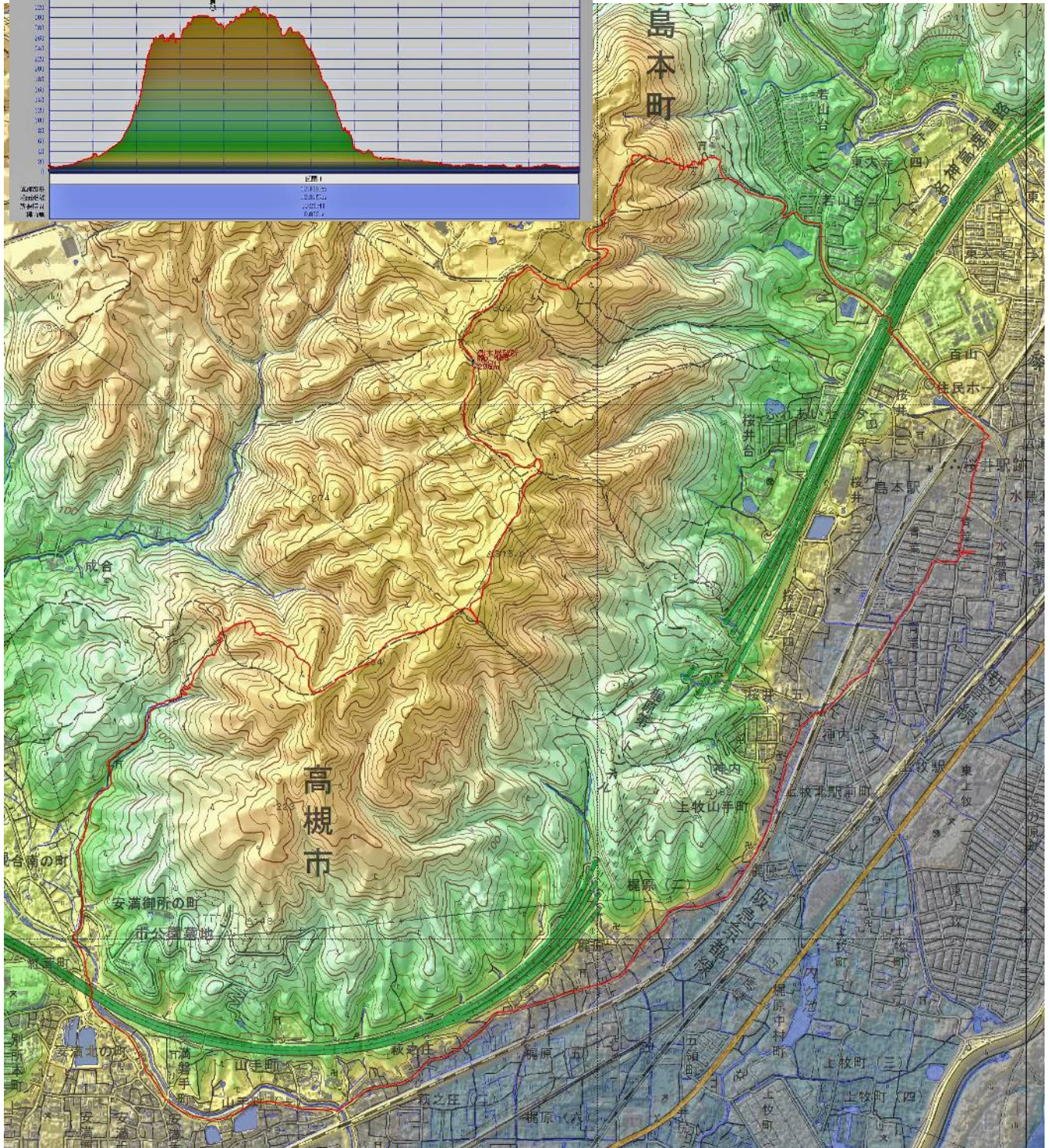
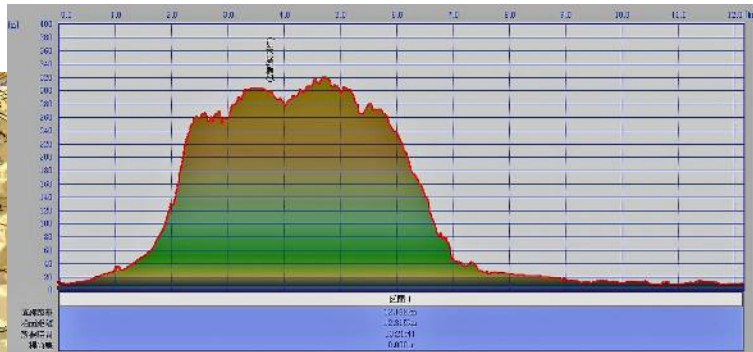
単独行

コース距離: 12.3 km、

所要時間: 3時間21分(休憩含む)

コースタイム: 自宅(11:26)→(11:54)若山神社→(12:36)島本展望所(12:48)→
(12:56)分岐→(13:06)北摂一番展望所→(13:28)金竜寺跡→
(13:52)磐手橋→((14:47))自宅

*山行軌跡と行程グラフ



山行記：

腰の調子も思わしくなく、又今回買い替えた靴の慣らしに歩くことにして太閤道にしたが寒さもあり出発時間が遅れたが風呂に入って帰るには早すぎる時間帯だ。

11時26分自宅を出て若山神社へ、神社の参道で前方に二人の登山者を見かけ二人は階段を登らず横の土手を登って行かれる。

太閤道の入口で出会ったときに、連れと行き違い連れは上から降りてくるのでと言付を頼まれて登って行くと一人の女性が降りてこられ尋ねると言付を頼まれた人で良かった。

稜線出合に来て汗だ具になりザックより手ぬぐいを取り出し汗を拭いてから先へ進む、ゴルフ場の横側で前方に登山者が歩いて居られる島本の展望所で追いつき展望所で小休止する。

今日は冷たい強風が吹いている展望は空気が澄んでいてはっきりと見渡せる、よく見ると東方向に微かに雪を冠むった山が観る事が出来て鈴鹿の山と思われる。

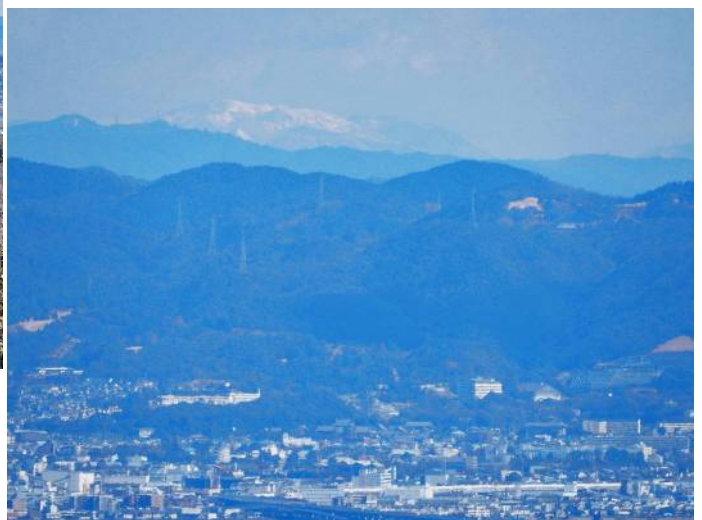
先行者より先に展望所を経ち先を進む、東方向から南に向かう分岐手前で高槻から来られた一団が真すぐ北に（ふれあいセンタ降り口）に入って行かれた、此処は消防の通報版は有るが道標が無いいため誤って直進されるのだ。

私が横から通り抜けたため誤りに気付かれた様だ、北摂一番の展望所に立ち寄ったが大阪市街は雲が掛かり展望は良くなかった、時間も早いので太閤道を先に進むこの先はいつもなら悠久の丘へ下るのだが今回は金竜寺跡へ下る事にした。

金竜寺跡への道は灌木が多い茂り陰気な登山道だ、これが金竜寺跡からも登山口まで続く、磐手橋からは檜尾川に沿って歩き西国街道に出て自宅に戻る。



島本展望所より
東側を拡大する
鈴鹿の山が観える
(那須ヶ原山方面)





島本展望所より桂川と鴨川



北摂一番展望所より大阪市街



悠久の丘（右）と金竜寺跡（左）への分岐



金竜寺跡